

施工後の調整・確認

1. 扉の調整

施工完了後は、扉のガタツキ、緩み、傾きがないことを確認してください。

調整が必要な場合は取扱説明書の丁番・他金物の調整方法の要領で調整をしてください。

2. 施工後のクリーニング

キャビネットや扉のホコリ・汚れは柔らかい布で拭き取ってください。

3. 水廻りの取付状況の再確認

水栓金具、排水金具が確実に取付されていることを確認してください。

4. 機器類の試運転

機器類は付属の取扱説明書に従って、施工後の点検『試運転』を行ってください。

ベースキャビネット付属ねじ

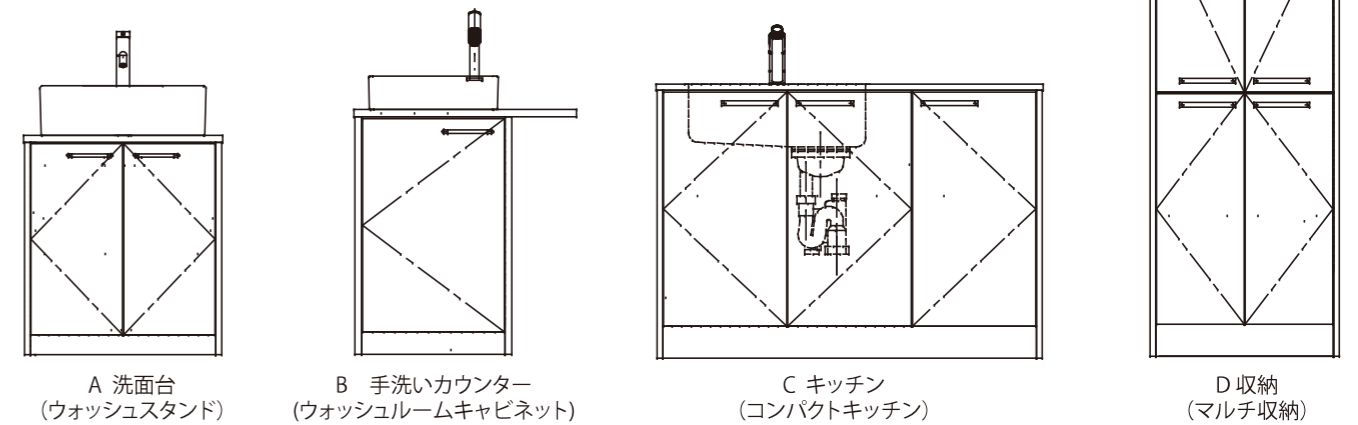
- 皿木ねじ L50mm
- 皿木ねじ L28mm
- トラストピングねじ L12mm
- ワッシャー
- 化粧キャップ

LA ARCHITECTS

s-Face 設置説明書

取付・設置をされる方へのお願い

- 取付・設置前に、この「取付・設置説明書」をよくお読みの上、正しく設置してください。
- 設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
- 本体や機器に同梱されている取扱説明書等はお客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れの無いように保管し、取付・設置完了後、お客様に渡してください。



安全上のご注意について

- ここに示した注意事項は守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。
- 設置完了後に試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確認してください。
- 表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表で区分し、説明しています。



注意



禁止



実行

以上の記号の記述を必ずお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危険の程度。



ステンレス製カウンターを取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。(切断面に触ると、ケガをする恐れがあります)



電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規定にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。(火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります)



組込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの取付・設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。(思わぬ事故や故障の原因になることがあります)



レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください(詳しくは、所轄の消防署へ確認ください)(火災の原因になることがあります)



加熱機器と可燃物との離隔距離は各機器の設置説明書にしたがって厳守してください。



注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。



棚板を設置する時は、棚受けをすきまのないよう根元まで確実に差し込んでください。(棚板がはずれ収納物が落下してケガをする恐れがあります)



防臭キャップ・排水器具・排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。(水が漏れたり、湿気が上がり床などが腐る恐れがあります)



排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。(排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚すおそれがあります)



取付・設置完了後は、扉のガタつきや丁番のゆるみのないことを必ず確認してください。(使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります)



取付・設置に使われる溶剤・その他薬品類は、それぞれの注意表示にしたがって、正しく使ってください。(誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因となります)



絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。(落下して、ケガの原因となります)

施工前の確認

1. 荷物の受取り

車上渡しとなります。また重量がある製品や荷姿の大きな製品がありますので受取りの準備をお願い致します。
(製品の品質確保のため、搬入・搬出は必ず手運びで行ってください)

2. 部材の確認

荷受した商品は必ず発注控え又は納品一覧表を基に、品番・数量を確認してください。

3. 施工現場の確認

設備図面通りに、一次工事ができているか以下の項目について、確認してください。

- ・設置場所の間口寸法、床の水平、壁の垂直、コーナー部の直角度
(水平・垂直・角度等の精度が出ていないと、仕上がが悪くなり、使用時の安全性にも影響します。)
- ・窓枠や建具の位置と寸法
- ・取付木の位置及び寸法 (厚さ45mm以上、幅100mm以上の強度のある硬い木材)
- ・必要な給湯水管、排水管、ガス配管、電気配線の位置と接続方法
- ・ガス種、電圧(100V・200V)、周波数
- ・レンジフード用の開口の位置及び寸法
- ・火災予防条例に準拠したレンジフード、加熱機器(ガスコンロ・IH)の設置場所と可燃物との離隔寸法
製品の搬入経路の確認を行ってください。

4. 設備位置は図面通りの位置に出ているか、確認してください。

A 洗面台の設置

1. 本体の設置

本体の背板に固定用下穴(φ5)を開けてください。(図1)
水準器等で本体上端の水平レベルを確認し、取付ねじL50にて壁面に固定してください。
※連結ワッシャー・ビスキャップを必ず使用してください。
※配管・配線および床暖房設備に影響がないことを確認してから固定してください。

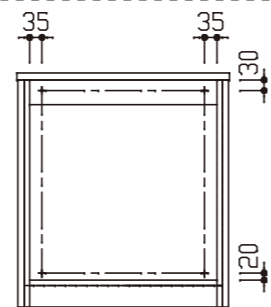


図1:[固定用下穴参考図(洗面台)]

2. 洗面ボウル、水栓・排水金具の取付け

水栓金具に付属されている取付・工事説明書に基づき、取り付けます。
洗面ボウルはシール材にてカウンターにしっかり固定して下さい。

B 手洗いカウンターの設置

1. キャビネットの設置

ベースキャビネットの背板に固定用下穴(φ5)を開けてください。(図2)
水準器等でベースキャビネット上端の水平レベルを確認し、取付ねじL50にて壁面に固定してください。
※連結ワッシャー・ビスキャップを必ず使用してください。
※配管・配線および床暖房設備に影響がないことを確認してから固定してください。



2. カウンターの取付け

横に張り出すタイプのカウンターの場合は壁にブラケットを取付けます。
キャビネット上端の高さにて墨出しをし、ブラケット自体は水平器を使用して水平に取り付けてください。
ベースキャビネットの上にカウンターを仮設置し、カウンターとベースキャビネットを前後左右調節して所定の位置に設置してください。
カウンターを、ベースキャビネットに取付いているカウンター固定金具部に、トラスタッピングL12を使用して固定します。



- ステンレスカウンターの端部でケガをしないように注意してください。
- カウンターを持ち運ぶ時は必ず立てて持ち運んでください。
(平持ちで運ぶとカウンターの变形、歪みの原因となる恐れがあります。)

3. ボウル、水栓・排水金具の取付け

水栓金具に付属されている取付・工事説明書に基づき、取り付けます。
ボウルは取付金具を用いて壁に取付け、カウンターとの設置部をシールしてください。
ボウルはカウンター端揃え(図面では14mm離す)でも設置可能です。
ボウルの左右に壁がくる場合は、カウンター端揃えにしないとシールの施工ができません。

4. ペーパーホルダー(オプション)の取付け

W430タイプのペーパーホルダーは壁固定タイプですので、取付壁に下地補強が必要です。
W600~W1500タイプのペーパーホルダーはカウンター裏板に固定するタイプです。手洗いカウンター図面に設置位置を指定していませんので、施工・取扱説明書に基づき取り付けてください。

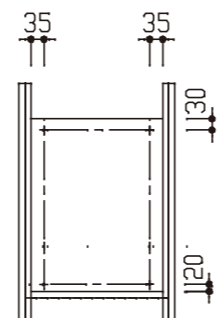


図2:[固定用下穴参考図(手洗い)]

C キッチンの設置

1. レンジフードの取り付け

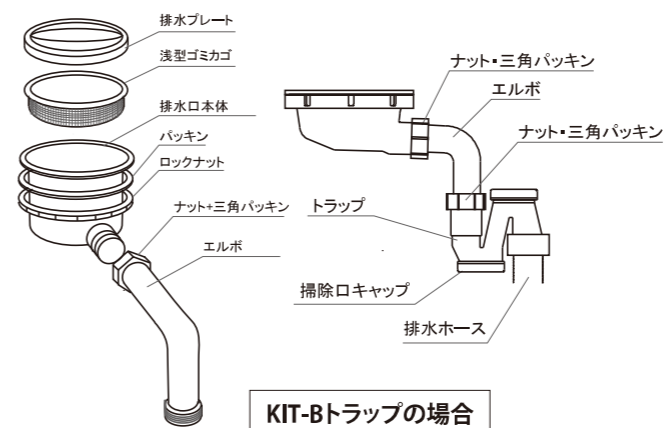
仕上り床面を基準に、レンジフードの下端(または上端)の位置に墨出しします。
キッチン設備図面で設置位置、設置高さを確認してください。
レンジフードに付属されている取付・工事説明書に基づき、取り付けます。

2. 本体の設置

本体の背板に固定用下穴(φ5)を開けてください。(図3)
水準器等で本体上端の水平レベルを確認し、取付ねじL50にて壁面に固定してください。
※連結ワッシャー・ビスキャップを必ず使用してください。
※配管・配線および床暖房設備に影響がないことを確認してから固定してください。

3. 水栓・排水金具の取付け

水栓金具に付属されている取付・工事説明書に基づき、取り付けます。
排水器具は下図の順序で取り付けてください。
KIT-Bトラップのロックナットは専用の締付工具(別売)を使用し、その他のナットは手で漏水のないように確実に固定してください。



4. 各種機器の取付け

各種機器に付属されている取付・工事説明書に基づき、取り付けます。

5. キッチンまわりは不燃仕上げにしてください。または、加熱機器と可燃物の離隔距離が取れていない場合は工事説明書に基づき防熱板を必ず使用してください。

D 収納の設置

1. キャビネットの設置

キャビネットの背板に固定用下穴(φ5)を開けてください。(図4)
水準器等でベースキャビネット上端の水平レベルを確認し、取付ねじL50にて壁面に固定してください。
ツールユニットをベースキャビネットの上に乗せ、壁面に固定してから上下のキャビネットを連結してください。
(取り付けねじL28)
※連結ワッシャー・ビスキャップを必ず使用してください。
※配管・配線および床暖房設備に影響がないことを確認してから固定してください。

2. サイドパネルの取り付け

キャビネットの側板に固定用下穴(φ5)を開け、サイドパネルをキャビネット内側より血木ねじL28で取り付けます。
サイドパネル裏貼りのステンレス部分を避けて留め付けてください。
天板とのチリにご注意ください。
※連結ワッシャー・ビスキャップを必ず使用してください。

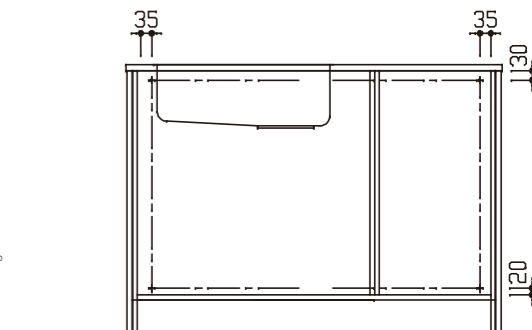


図3:[固定用下穴参考図(キッチン)]

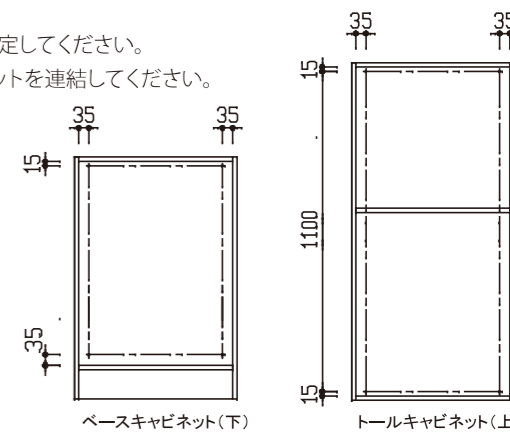
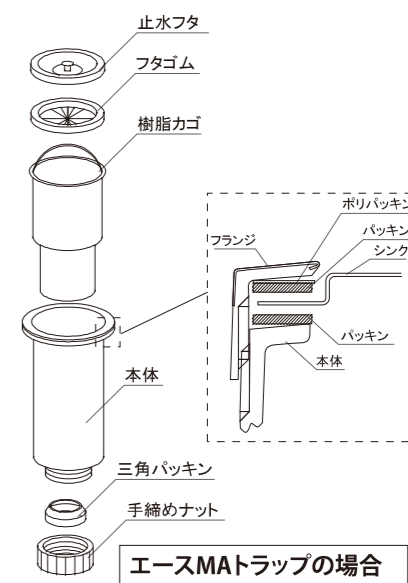


図4:[固定用下穴参考図(収納)]



クランプ工具で直接天板・サイドパネルを挟まないでください。へこみ・キズの原因となります。
使用する場合は板材10ミリ以上100角程度のものを抱かせて締めこんでください。